

「効率的・効果的な図書館サービス」アクションプラン概要版



「図書館組織の改編・強化」「民間活力の導入」「ICTの活用」で主に実現させる取組をそれぞれ示しています。

めざす姿

～2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度～

あらゆる市民が
利用しやすい図書館

★相互利用の拡大
隣接する自治体との相互利用を拡大

★移動図書館の出張運行
ニーズに合わせて運行見直し。子どもセンターや冒険遊び場、高齢者施設など、人が集う場に出向き、交流や憩いの場を創出

★開館日・開館時間の拡大
通勤・通学客の多い駅に近接する中央、鶴川駅前を開始

★図書館利用に障壁のある市民へのサービスの充実
電子書籍などICT活用で、読書が困難な方などに向けた、新たな図書館サービスを展開

◇みなさんからの意見◇
○高齢者向けの送迎サービスがあるといい。
○読み聞かせや予約受取など、これまでの機能に加えて、交流スペースの創出をしてほしい。
○鉄道駅に無人の自動貸出ステーションがある海外のように、もっと身近に利用環境を。
○静かに本が読める空間と、子どもが動き回ったり、話ができる賑わいの空間とのすみ分けができるとよい。

通期の取組

★情報発信の充実
中央に広報担当を新設。HP・Twitter・子育てサイトを通じた情報発信を充実

★市民のニーズに合った図書館事業の充実
図書館の資源を再配分。公立図書館として収集するにふさわしい「図書の実質」を実現

子どもの読書活動を
充実させる図書館

★「えいごのまちだ」の推進
外国語の絵本・児童書等を重点的に整備

★第四次子ども読書活動推進計画(2020-2024)の策定と推進
自ら進んで本を読む子どもを育てるための計画づくりと事業の推進

★移動図書館を活用した体験学習
小中学校、保育所、幼稚園等に出向き、ミニおはなし会や図書館講座などを実施。体験しながら学習ができる機会や本に触れる機会の充実

通期の取組

★中高生など若い世代向けイベントの充実
「POPコンテストまちだ」など若い世代に向けたイベントを行い、図書館の利用を推進

★学校図書館支援の充実
学校図書館への貸出方法を改善。学校教育部と連携し、新たな支援方法を検討

★図書館研修の実施
学校図書館担当者や新任教諭に、図書に対する理解を深めるための研修を実施する等、図書館のもつ技術・知識をいかした支援を実施

◇みなさんからの意見◇
○英文多読講座など、町田市が選ばれるまちになるために、図書館が魅力的になることが大切。
○学校図書館支援センターをつくって組織的にサポートを。
○「まちとも」にそよかぜ号がくるといいな

地域の「コミュニティ形成」を
支援する図書館

★読書マップの作成
大学図書館、地域文庫、まちライブラリなど、本に触れることができる施設の情報を集約した読書マップを作成

★関係団体との連携強化
おはなし会ボランティアの交流を行い、ボランティア同士のつながりを深めます

★ボランティアの活動分野の拡大
新たなボランティア制度を創設するなど、図書館で活躍するボランティアの活動分野を広げることを支援します。

通期の取組

★地域で活動するボランティアの育成・支援
学校や地域で活動するおはなし会ボランティアの養成と活動支援を実施

★本と出合える場所づくりの支援
地域活動サポートオフィスなどと連携し、地域コミュニティが運営する「まちライブラリー」などの開設を支援

◇みなさんからの意見◇
○図書館・ホール・カフェ=建物がひとつのコミュニティであるという考えに沿って図書館を活用する。
○本にちなんだ様々なイベントを実施してほしい。
○図書館員は図書館の中だけでなく、地域に出てこそ協働ができると思う。

地域の課題や社会状況の
変化に対応する図書館

★中高生の居場所づくり
今あるスペースを有効に活用して、中高生が勉強できる場を提供

★(仮称)これからの図書館スタート事業
中央図書館30周年を新たなスタートと捉え、様々な地域課題をテーマに解決のきっかけづくりになる連続講座を実施

★シニア向け事業の充実
認知症予防の講座を市民と協働して実施するなど、シニア世代が地域でいきいきと健康に暮らすための取組を充実

★地域で活動する人材の育成支援
地域活動サポートオフィスや地区協議会生涯学習センターなどと連携し、地域で活動する人材を育成するための講座を開催

★電子書籍サービスの導入
インターネット環境・スマートフォンの普及や市民のスタイルの多様化に対応

★地域資料の活用の促進
地域活動を行う上で重要となる地域資料のデジタルアーカイブ化を進め、地域活動を支援

★部門横断の取組
町田市の各部署の施策PRのため、特集コーナーの設置・イベントの実施

◇みなさんからの意見◇
○中高生がグループ学習などに使える場所や、PTAの作業で資料を使いながら、制作活動などができる場所があるといい。
○ラーニング・コモンズ(学びを支援する空間)を目指すべき。

通期の取組

★地域の課題解決への支援
地域活動を支援するために、先進事例の紹介などのレファレンスサービスを充実

「図書館の運営体制の確立」
「図書館資源の再配分」

- ※会計年度任用職員制度開始
- ※役割整理、人員配置の見直し
- ※中央の定型作業の外部委託化
- ※図書館組織の改編・強化
⇒中央に企画・地域支援部門設置
- ※中央への業務集中化による地域館効率化

- ※移動図書館サービスの見直し
⇒定期巡回運行のポイントを見直すとともに、人が集まる場所、イベント等への出張運行を可能に。

- ※鶴川駅前に指定管理者制度を導入
- ※鶴川駅前の開館日時を拡大
- ※鶴川集約と代替機能の導入
- ※指定管理者制度の効果検証

- ※指定管理者制度の効果検証、地域館の運営検討
- ※市民センター運営の動向確認
- ※システム刷新によるICT環境強化(2024)
- ※中央の運営のあり方の検討(2024～)

- ※さるびあと中央の集約(～2026)
- ※移動図書館などさるびあとの機能移転
- ※指定管理制度の効果検証結果に基づく地域館の運営(2025～)

準備期

導入期・検証期

展開期

◇みなさんからの意見◇…ワークショップ「鶴川地域図書館のこれから」、学習会「町田市の図書館をデザインしよう!」で出た意見や第18期図書館協議会の委員からの意見、各種アンケート調査など、さまざまな場面でいただいた意見です。今後、実現に向けて検討をしていきます。